

地方都市政策学特論

専門 選択 2単位

荒井 良雄

1. 授業の概要(ねらい)

地方都市の振興にはさまざまな難しさがありますが、近年、注目されている地方都市振興の方向として、ものづくりと文化を結びつける「創造都市」と呼ばれる都市づくりの考え方があります。この授業では、「創造都市」に関する基本的な文献について討論することを通じて、地方都市の将来をどのように切り開くことができるかを考えます。この授業は、この授業は、DP1～2に対応します。

2. 授業の到達目標

学生は、基本的なテキストを丁寧に読解する能力を身につけるとともに、関連する地方都市に関する情報を自力で収集して、報告・討論する力を身につけます。

3. 成績評価の方法および基準

この授業は演習方式をとり、参加者によってテキストを輪読し、さらに関連する文献、資料等について報告してもらいます。また、各回の授業の後半には報告内容を検討します。成績は、報告内容(60%)および議論への対応状況(40%)に基づいて評価します。参加者には、この討論を通じて、フィードバックされます。

4. 教科書・参考文献

教科書

佐々木雅幸 『創造都市への挑戦—産業と文化の息づく街へ』 岩波現代文庫,2012,ISBN: 978-4-0060-3242-5
佐々木雅幸・総合開発研究機構 『創造都市への展望—都市の文化政策とまちづくり』学芸出版社, ISBN: 978-4-7615-3152-2 学芸出版社,2007,ISBN: 978-4-7615-3152-2

参考文献

授業中に、適宜紹介します。

5. 準備学修の内容

テキストとして用いる文献の事前読解および関連資料の収集、報告レジュメの準備、事後のレジュメ修正等のために、少なくとも3時間を必要とします。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 授業概要の解説、授業の進め方に関するガイダンス
- 【第2回】 「世界都市」と地方都市
- 【第3回】 佐々木雅幸(2012)「「創造都市」の登場とその系譜」の検討。報告レジュメの事前作成および授業後の修正が求められます。(以下、同様)
- 【第4回】 佐々木雅幸(2012)「創造都市・ボローニャへの招待(職人企業論)」の検討
- 【第5回】 佐々木雅幸(2012)「創造都市・ボローニャへの招待(文化・福祉行政と協同組合)」の検討
- 【第6回】 佐々木雅幸(2012)「内発的創造都市をめざす金沢」の検討
- 【第7回】 佐々木雅幸(2012)「創造都市への多様なアプローチ」の検討
- 【第8回】 佐々木雅幸(2012)「産業と文化と「創造の場」を作る4つの現場から」の検討
- 【第9回】 佐々木雅幸・総合開発研究機構(2007)「芸術の森とパシフィック・ミュージック・フェスティバル、モエレ沼公園」の検討
- 【第10回】 佐々木雅幸・総合開発研究機構(2007)「盛岡ブランドによるまちづくり」の検討
- 【第11回】 佐々木雅幸・総合開発研究機構(2007)「様々な文化政策を実践する仙台のまちづくり」の検討
- 【第12回】 佐々木雅幸・総合開発研究機構(2007)「クリエイティブシティ・ヨコハマの挑戦」の検討
- 【第13回】 佐々木雅幸・総合開発研究機構(2007)「文化」を生かした産業都市への検討
- 【第14回】 佐々木雅幸・総合開発研究機構(2007)「モデル都市アイランドシティでの試み」の検討
- 【第15回】 総括討論